

うんどうかい直前号
(マンにー表入)

2023 年度

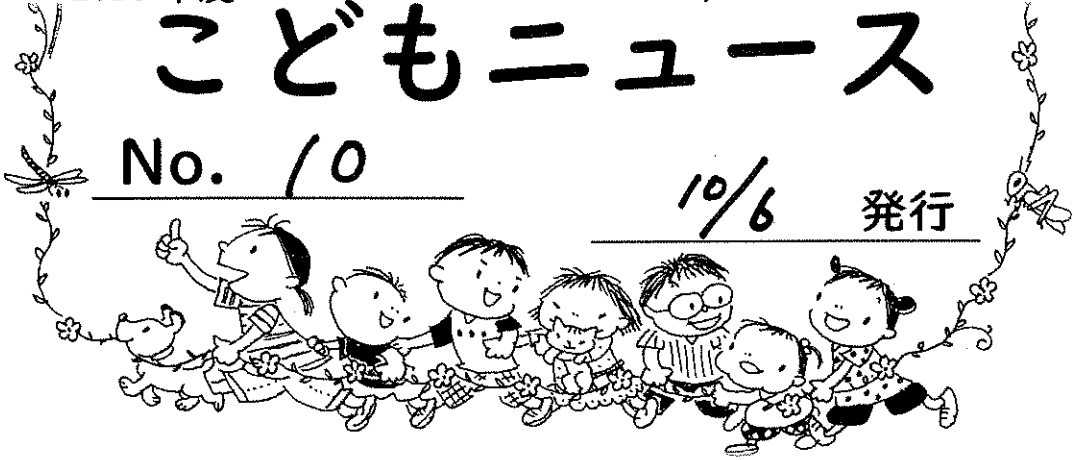
金城学院幼稚園

こどもニュース

No. 10

10/6

発行



【2023 運動会にこめる願い】～コロナ禍を越えて～

3 年以上にわたった新型コロナウイルスの感染状況は保育現場にも大きな影響を及ぼしました。ほとんどの行事は「三密」であるために実施するにも時間短縮、分散開催、人数制限など多くの工夫が必要でした。今年度、春に新型コロナウイルスは5類へ移行し、バザーもようやく卒園生をお呼びでき、運動会も4年ぶりに来園者の人数制限なしで実施を予定しています。子ども達の育ちの姿をより多くの方々とともに喜びあえる日となりますよう心から願っています。

本園の運動会は他の行事と同じく「毎日の遊びの延長線上にあること」を大事にし「親子で神様からいただいた身体を動かし楽しむこと」を中心に行ってききましたが、長年、園の運動会の中心にあった「親子競技」は「三密」そのものであったために新型コロナウイルスの感染状況下では中止せざるを得ない状況が続きました。この状況が3年以上続いたために、現在在園されている子ども達、おうちの方々は皆で楽しんだ「親子競技」を経験されていない方も多くいらっしゃると思います。

今回は私達保育者が運動会という行事を通して、何を子ども達に伝え育てたいと願っているか、何を大事にしているかなどをあらためてお伝えしたいと思います。

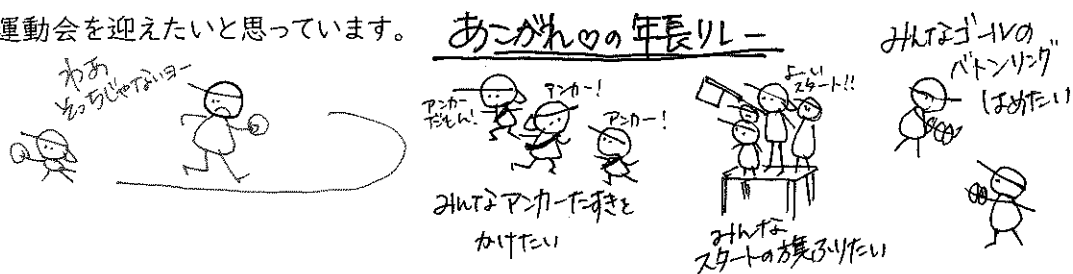
***身体を動かす喜びを感じ神様からいただいたそれぞれ異なる賜物を活かしあう**

2 学期から朝の体操が始まりました。9 時に「朝のテーマ」と呼ばれる音楽がかかり、それを合図にクラスの旗の前に2列に並んでいきます。

1列は年長児と年少児、もう1列は年中児が並びます。最初は「並ぶ」ということもわからなかった年少さんですが、年長さんが間に年少さんを挟んで並び、順番や間隔の開け方を「ここだよ」と自然に教えています。普段からの関わりのおかげですね！今では音楽が鳴る前から年少さんも旗の前に「もうすぐだよ！」と並ぶ姿があります。

9月も半ばを超えると1学期に比べ、身体もしっかりと動くようになってきたからか、自然に「ドロケイ」や「鬼ごっこ」など身体を使った遊びに参加する子どもが増えてきました。年長さんが取り組んでいる「リレー」も目の当たりにしてその迫力に「おお！」とびっくりしつつ「ボクも!」「ワタシも!」と立候補する子も続出。3学年…いや、にじ組さんも含めて4学年が入り混じってバトンを繋ぐ、金城ならではの遊びの風景です。

時にはバトンを受けた年少さんが逆走することも…。慌てつつも、年少さんの肩を回して正しい方向に向け「ほら!走って!」と応援する年長さん、次にバトンを受け取ると遅れた分を必死に走って取り戻していましたよ。このようにそれぞれの育ちの違いがあっても認め合い、活かしあい育ちあう暮らしを大事にしたいと思います。そしてこのような毎日の延長線上に運動会を迎えたいと思っています。



* 毎年同じ…ではなく目の前の「一人ひとりを大切にいかす」保育をめざして

それぞれの子ども達の姿を「見せる」ことが多かったこの3年間の運動会。参加型の運動会に制限があった中で何とか運動会を実現したいと工夫を重ねて実現した内容のものでした。今年、運動会を実施するにあたり、あらためてこの行事をどのように考えるか、職員会議で長い時間をかけて話し合いました。これは園では特別な事ではなく、私達保育者は毎年それぞれの行事や保育について、その年の子ども達の姿にふさわしいと考える「保育内容」や「願い・ねらい」を時間をかけて検討しながら決めていきます。保育の現場では、ともすればついつい「今までにならって同じ保育を」と考えがちです。でも子ども達の姿はその年その時により変化し、成長の具合も違います。

実際の子どもたちは毎年、そして一人ひとり異なる成長の姿なのに「去年やったから今年も…」と繰り返していくと目の前の子ども達の大事な「今の姿」をとらえきれずに見過ごしてしまう危険性が常にあるのです。

目の前の子どもの姿から学び、一人ひとりを大事にする保育は金城学院幼稚園の保育者が50年間、常に目指してきたことです。(記念誌「50年のあゆみ」の「園設立の精神」

をぜひお読みくださいね!) だからこそ、「毎年、同じ保育」ではなく、その年の子ども達の姿から引き出される内容にしたいと考えていますし、特に年長児のあつまりの保育についてはその年の子ども達との話し合いを大事にしています。子ども達自身が主体的に自分達の園生活に関わってほしい、その学年の持ち味を活かしてほしいと願い、子ども達と一緒に生活を創りたい、と願うからです。

その様に願い検討を重ねながら、今年の子供達との運動会の在り方を考えました。
当日の取り組みをどうぞお楽しみに!

* みんなで参加できる、みんなが楽しい運動会とは?

特に大きな行事は、その「意味」を子ども達自身が理解して、楽しんで参加できることが大事です。「言われたことを一生懸命する」ことも大事ですが、一人ひとりが「やりたい!」と主体的に参加し「おもしろい!」と楽しんで行事を迎えることを大切にしたいと考えています。

一番大事なのは「子ども達にとって」楽しい運動会ではないでしょうか。そう考えると、競技の数が多すぎると疲れてしまいますし、最近の異常気象では競技時間や待ち時間が長ければ熱中症の危険が子どもも大人も増してしまいます。以前は途中休憩を挟んで12時過ぎまで行っていましたが、当時から年少さんは後半おなかがすいて泣いたり、疲れて競技に出られなくなったりという姿が多く、課題を感じていました。コロナ禍の対策として時間短縮をしましたが、それによって年少さんも含め「あー、楽しかった!」と終われる目安の時間が見えてきました。

また日々の遊びの中で楽しい経験が積み重なっていることで当日の環境が普段と違って参加しやすかったり、楽しめるのではないかと考えています。運動会に向けた練習は、当日ちゃんと「何かができる」ためにするのではなく、お客様も多く普段の環境とはかなり違った中でも(大人でもあの大勢のお客様の中ではドキドキします!）、子ども達が余裕をもって充分に楽しめるよう、毎日の遊びの中で何度も経験し、充分面白さを理解して参加してほしいと願い取り組んでいます。

* 大きな行事は「過程」が大事

当日もちろん大事ですが大きな行事ほど「過程」が大事です。年少さんは初めての運動会、日頃と違う環境の中でも充分楽しめるように、年中さんは思いっきり身体を動かす喜びを感じられるように、年長さんは最後の運動会、仲間と力を合わせ競技に取り組むだけでなく、最年長児として運動会の運営にも関わられるようにと願っていますから様々な役割

を担ってくれます。ゴールのテープを担当してくれたり、道具を出してくれたり、年下のお友だちの競技のお世話をしてくれたり…と大活躍の予定です。どれも急にできるようになるわけではなく当日までの毎日の積み重ねの中で育つものです。日々の遊びや活動との連続性を大事にしていきたいと思っています。

また、当日を迎えるまで子どもによっては「ドキドキする」「うまくできなかつたら…」「恥ずかしい」などの葛藤も生まれます。その葛藤は成長にとってとても大事な事です。成長する、ということは新しい葛藤に出会うということでもあります。

どうぞ、その葛藤と向き合う子ども達の姿、運動会に向かう一人ひとりの過程の姿にも目を留めていただけたらと思います。楽しみにしている、どうもドキドキしているみたい、なにも言わないのだけれど大丈夫?(笑)など、どんな事でもお伝えください。

私達保育者も子ども達一人ひとりの道筋をおうちの方々とはわかちあい、共有し、ともに子ども達の育ちを支えていきたいと思っています。

* 一人ひとりの成長をみんなで喜び合う運動会に一「できるできない」ではなく一

行事を楽しみにしていても、一生懸命準備をしていても当日は普段通りに力を出し切れる子ばかりではありません。いつもと違う、たくさんのおうちの方に圧倒されたり緊張や恥ずかしさでドキドキして力を出し切れない子もいることと思います。そのような姿も今現在のお子様の成長の姿と受け止めていただきたいと思います。そして異年齢のクラス編成では子ども達は自分が参加しない競技でも仲良しのお兄さん、お姉さん、あるいは年下のお友達が出場するのでみんなで応援しあう姿があります。おうちの方々にとっても我が子だけではなくクラスや学年を超えて一人ひとりの頑張りを応援し成長の喜びをわかちあえる一日となりますように。

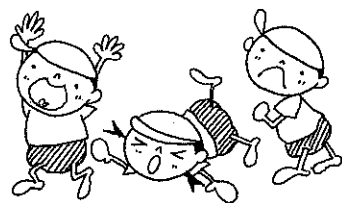
* 運動会についてお願い

今年度は人数制限もなく、この3年間に比べ大勢の方が来園します。お互いに十分に距離をとっていただき安全のためのルールを守ってご参加ください。先日お渡ししたお便りに当日のルールやお願いがたくさん書いてあります。どうぞよく目を通していただきますようお願いいたします。

運動会当日までの「過程」をお伝えすることもニュース、この後は学年ごとのあつまりの様子です。

児玉芽 

年 長 あ つ ま り



☆心を込めてメダルをつくりました!

小さな年少さんやにじくみさんに内緒のメダル作り。プレゼントの話をする、自分たちが年少だった時にもらったメダルを覚えていて、「お花だったよね」と嬉しそうに話してくれた子もいました。今度は自分たちが作ってあげる!と手を挙げてくれた優しい年長さん。受け継がれていくバトンです。今年は、少し厚めのタント紙を使って切り紙の動物メダルを作りました。年長さんになると「喜んでもらいたい」という思いをもって取り組むので、ゆっくり丁寧に切ろうとする姿や「可愛い顔にしてあげよっ♡」と贈る相手を想いながら描く姿がありました。そして、メダルの裏には年長さんからのメッセージ。「がんばりました」「かっこよかったよ」など温かい言葉や絵があふれていました。心を込めた素敵なプレゼントです。是非、楽しみにしててくださいね♪

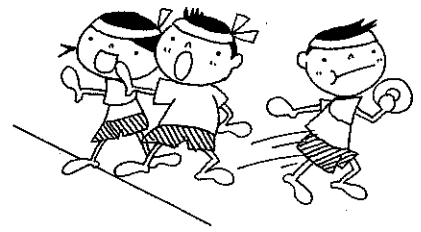
※年少さんの保護者の方は、『よーいドン』の競技が終わり次第、クラスの座席まで来ていただき、お子さんからメダルを受け取ってください。よろしくお願いいたします。

☆みんなて話し合っって決めました

運動会では毎年、年長児が様々な係を担っています。係を担うことで自分たちの運動会だという自覚を持ってほしい事、自分で決めたことを最後まで責任を持って取り組む経験をしてほしい事、人の為に役立つという経験をしてその喜びを感じてほしい事、そのようなねらいを持って取り組んでいます。

昨年の運動会について話し合っていると、年長さんがどのような係を担っていたかどの子もよく覚えていました。そしてこの係をやりたいという気持ちをすごく持っていたことも分かりました。しかし係によっては希望者がいない係もありました。どの係も必要でどうしたら良いのか話し合っていると、快く係を代わってくれる年長さんが何人もいて、自分の思いだけでなく全体のことを考えてくれる姿に年長児らしさ、そして心の成長を感じ嬉しく思いました。運動会当日、様々な場面で年長児が係を担い活躍する姿をご覧ください。





☆何回も走って仲間と頑張る年長さん

- ・励ましあったり、認め合ったりしながら仲間と協力して走り、達成感を味わう
 - ・どうすれば勝てるのかを友だちと考え、勝ったり負けたりしながらリレーの楽しさを知る
- 上記のようなねらいをもってリレーに取り組んでいます。

2学期に入り園庭ではどろけい遊びやリレーを楽しむ子が多くみられるようになりました。人数が少ないと「リレーやる人いませんか」「どろけいやる人いませんか」と各クラス前のテラスから年長児が中心となって友だちを誘う元気な声が響き渡ります。子どもによっては走ることが大好きな子もいればそうでない子ももちろんいます。でも友だちからの誘いで「じゃあやってみよう」という気持ちに変わるので。友だちの力は偉大で、一人では挑戦できなかったことも、友だちとならやってみようと挑戦する力が芽生えるのも年長児だからこそです。まさにチームワークが大事なリレーという競技への取り組みは、年長児の身体と心の豊かな成長に繋がっていくのだと思います。

走る順番は走りたい番号を選ぶのですが、中には同じ番号を選びどうやって決めようか色々話し合ったクラスもありました。どうしたら優勝できるのか、足が速い人が先に走った方が良いのではないかなど、みんなで知恵を出し合い考えて順番を決めました。

朝の体操後に行った先日のリレーでは、バトンを渡すときに上手く渡すことができず落としてしまう姿が何度も見られました。終わった後走ってみてどうだったかみんなで振り返ると、子ども達はバトンの受け渡しが出来なかったと気づくことができました。その後もう一度リレーを行うと、受け渡しを意識することができ、誰一人バトンを落とすことなく受け渡しも走り方も完璧でした。走り終わった後の子ども達の上手くできたという満足した表情と自信に満ち溢れた姿が印象的でした。単にバトンを繋ぐだけでなく、友だちと心をつなげて心も繋がっていないと上手くできないことを子ども達はリレーを通して感じてくれたと思います。運動会当日の勝敗結果だけでなく、バトンを繋いで友だちと心をつなげて一生懸命走る子ども達の姿を見ていただけたらと思います。また我が子のクラスだけでなく年長児全員を応援していただけたら嬉しいです。温かいご声援をよろしくお願いします！



☆今年の年長スペシャルは…騎馬戦です☆

少しずつ暑さも和らぎ、子どもたちが『どろけい』や『ドッジボール』などを楽しむ姿も増えてきました。年長さんになると、泥棒と警察が逃げたり追いかけたりするだけでなく、牢屋にいる仲間を助けるために作戦を考えたり、『王様ドッジ』というちょっと複雑なルールのあ

る遊びを「面白い!」と感じることができるようになります。

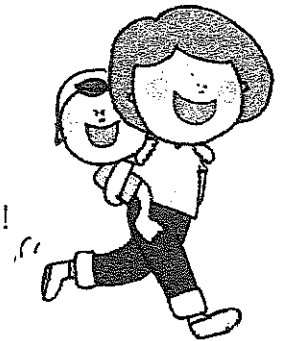
年長さんだからこそ、今まで経験してきたことを糧にして、仲間と相談しながら勝つ為の方法を考えたり、協力して勝負するという楽しさを経験してほしいと願っています。

運動会では、おうちの方の力もお借りして『騎馬戦』という新しい遊びに挑戦します!

あつまりでは、騎馬戦と同じルールで『しっぽとり』をしました。大将戦では作戦タイムの時間を設け、「どうしたら勝てるのか」を話し合いました。「大将の周りに守る人を作る」「相手の大将を呼び寄せてしっぽを取る」「守る人と取りに行く人を決める」など、自分のことだけでなく『チームが勝つためにどうすべきか』ということを考えらる子どもたちの姿に、さすが年長さんだと驚きました。また、実際に戦ってみて、作戦通りに動くことができたかどうか振り返りました。このような経験が、主体的に遊びを深めていく力に繋がってほしいと思います。

子どもたちに今年の年長スペシャルが親子競技であることを知らせると、「やった〜!」と喜んでいました。騎馬戦がどのようなゲームであるかを説明するため、保育者が見本を見せると、「おんぶするんだ〜♪」と何だかニヤニヤ嬉しそう。中には「うちのお母さんは、もう〇〇歳だから、重くておんぶなんて無理って言うから出来んわぁ」な〜んで心配している子も。年長さんになると身体も大きくなり、抱っこやおんぶをする機会がほとんどないかもしれません。でも、子どもたちはギューツと抱きしめられたら嬉しいし、まだまだスキンシップは大切です♡幼稚園最後の運動会。ぜひ親子で身体を動かす気持ち良さを一緒に感じてほしいと思います。競技中は、もしかしたら子どもたちよりも、若かりし頃を思い出したおうちの方が白熱してしまうかもしれません👉怪我無く、子どもたちと楽しむ為にも、ルールを守っておこなってくださいね♪では、ルールを説明します。

- ・お子さんをおんぶします。肩車は禁止です。
- ・子どもたちは、帽子のゴムを帽子の中に入れます。顎には掛けません。
- ・帽子のツバは、後ろ向きにしてかぶります。帽子を押さえて守るのはNG!
- ・競技中は、歩く or 早歩きで移動します。走ることは禁止です。
- ・コート線の外から出てはいけません。
- ・帽子を取られたら、自分のチームのスタートラインに戻ってください。座って応援しましょう。
- ・笛の合図で終了です。



【1回戦…個人戦】 帽子をかぶっている子どもが多いグループが勝ちとなります。

【2回戦…大将戦】 兜を取ったグループが勝ちとなります。

年中さん 運動会に向けて...

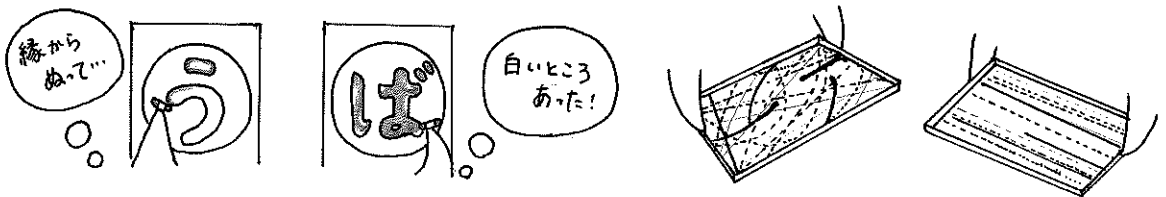
【看板づくり】

「年中さんが咲かせた花火、バザーの日に見た？」ときくと、「見つけたよ」「エントランスにあった!」と教えてくれました。自分たちが作ったものが、バザーの日、役に立った!という喜びを感じてくれたようです。“自分たちの力が誰かの役に立つ”という経験を積み重ねてほしいと思い、年中さんに運動会の看板づくりという役割を担ってもらうことにしました。

看板の文字は、一人一文字クレパスで塗り込みました。「『うんどうかい』の『う』だよ。」「『がんばるぞ』の『ば』だよ。」と画用紙を渡すと、自分が担う役割に、嬉しそうな表情で取り掛かっていました。クレパスで塗り込むところは、さすが年中さん。「ここも! あ、こっちも!」と白く残っているところを探して、根気よく塗っていました。

看板の文字の台紙は、花火のスタンプに続き、“かく”以外の表現技法としてビー玉画をしました。ビー玉に絵の具をつけて、画用紙の上でコロコロ転がすと、面白い模様ができます。勢いをつけて転がすことを楽しむ子や、ひたすら平行に転がす子、「もっとやる!」と何十分も楽しんだ子。ビー玉画をよく見るとその模様から、子どもたちがビー玉をコロコロ転がす様子が目に浮かんできます。

年中さんに、「どこの何の字を作ったの?」と聞いてみてください。(覚えているかな...) 運動会当日、その文字が合っているか、お楽しみに!



思いっきり走り抜ける姿に注目!【かけっこ】

「腕をしっかり振るんだよ」「前向いて走ってね」と年長さんからアドバイスもらった年中さん、その期待に応えるかのように全力で走り抜けていく姿を楽しみにしててください。年少さんの時と比べて走る距離も伸びていますが、子どもたちの気持ちも成長しています。自分の力をいっぱいまで使いゴールテープに向かって走りきる、もっともっと速く走りたい、かっこいい姿を見て欲しい、そんな子どもたちの気持ちも走る姿から感じていただけたらと思います。

しかし、子どもたちのなかには“不安”を感じ“葛藤”している子もいます。子どもたちに自分の力を信じて走ること、がんばってみることを楽しさを味わってほしいと思っています。「転んだらどうしよう...」「見られるの恥ずかしいな...」「一番になれなかったら?」と子どもたちの悩みは様々です。一人ひとりの思いに寄り添いながら、できるきっかけやタイミングを見つけていきたいと思っています。(“その日その時”は運動会の日ではないかもしれませんが...)

投げ方研究中【玉入れ】

「あれ?入らない」「違う方にとんでいく…」玉入れの難しさに気付いた年中さん、あつまりやクラスの活動で繰り返し経験するうちにこうした方が良いのかも!?という発見をしています。



今年度はおうちの方々にも【玉入れ】に参加していただきたいと思います。

子どもたち用の小さな籠ですが、子どもたちと同じでは…ちょっと難しいことに挑戦して、できたときの達成感を子どもたちと共有していただきたいと思っています。

大人バージョンは…

1. 籠が高くなります
2. 籠の周りに引く円よりも外側から投げてください
3. チーム(①②③)ごとの入れ替わり制です

このこどもニュースに載っている チーム表 を当日までにご確認ください

当日の投げる順番はランダムです,番号を覚えておいてください

1分半ほどの時間の中で何度かチームが入れ替わります

アナウンスをよく聞いて投げてください

※保護者の参加は年中児1名につき1名です。



&

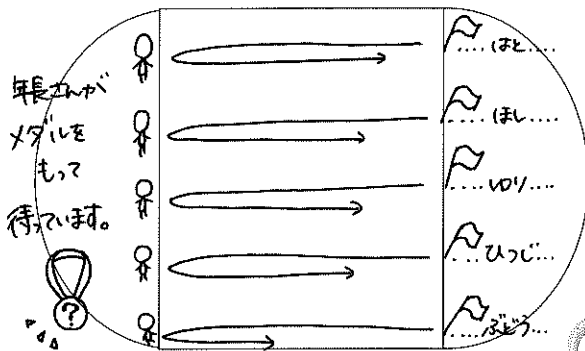


年少あつまり

いよいよ運動会が来週に迫ってきました。毎朝の体操やその後の準備の時間を通して、年少さんも運動会とはどんなものかだんだんとわかってきたようです。運動会に向けた、年少さんの取り組みをご紹介します。

よーいドン!

運動会、ときくと走ることをイメージされる方も多いのではないのでしょうか。年少さんも走ることが大好き! そんな元気な走る姿を、『よーいドン!』では注目してみてください。



- ① 名前を呼ばれて「はーい」とお返事。
- ② よーいドンで走り出す!!
年長さんがメダルを持って待っています。
- ③ メダルをもらってクラスの先生のところまで。
クラスの先生と年少系の年長さんとハグ♡

メダルは年長さんが作ってくれていて、
どんなメダルかは運動会当日までのお楽しみ。
当日はアナウンスも入りますので、『よーいドン!』が終わりましたら
座席にいる我が子のところへメダルを取りに来てください。

年少あつまりでは、お部屋の中でも「よーいドン」をやってみました。この日は年長さんは学年あつまりにいているので、反対側に待っているのはぬいぐるみです。保育者の「よーいドン」の合図でどの子も嬉しそうにぬいぐるみ目掛けて走っていました。中には、「あっちのぬいぐるみナデナデしたいから、こっちの列に並んでもいい?」と聞いてくる子も。楽しんで「よーいドン」をしていました。

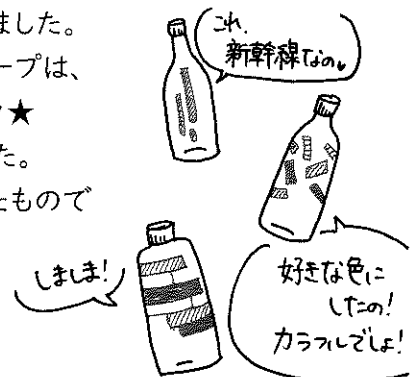
当日は、大勢のおうちの方の応援に緊張してしまう子もいるかもしれません。どうぞ、温かく見守ってくださいね。

応援グッズづくり

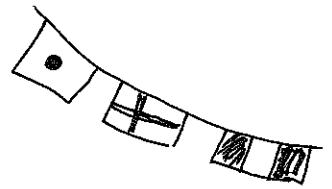
ペットボトルの回収のご協力、ありがとうございました。夏休み明け頃からペットボトルを持ってくると、「これで何を作るの?」と楽しみにしている姿がありました。

ペットボトルにはビニルテープで飾り付けをしました。ビニルテープは、バザーのエコバッグづくりでも使ったので、子どもたちは自信满满★思い思いにビニルテープを貼ってマイ応援グッズを完成させました。

中に入れたどんぐりは、お散歩(保育参加①)で裏山から拾ってきたものです。運動会当日は年少さんの応援にも注目してみてください。



宝とりゲーム!!



今年の運動会の年少スペシャルは【宝とりゲーム】を親子で行います♪
多くの年少さんにとっては、幼稚園で初めての運動会です。“楽しみだなあ!”“頑張って走るぞ!”と運動会を心待ちにしている子もいれば“なんだかドキドキするなあ”“ちょっとやりたくないなあ”と不安に思っている子もいると思います。そんな年少さんが、大好きなおうちの方たちと一緒に競技に参加をすることで“おうちの人と一緒にならでできる!”と安心して挑戦できたり、“一緒にできるの嬉しいな”と親子で身体を動かす事に、喜びを感じられる機会になったらいいなと考えています。また、今回の年少スペシャルを通して、ルールのある遊びに興味を持つきっかけとなり、今後の遊びに繋がっていったら嬉しいなあと思っています。今回は2チームに分かれて行いますが、勝ち負けにこだわるのではなく、一緒に参加することの楽しさや、頑張っているみんなを応援し、応援してもらう喜びを分かち合うことができたと思います♪

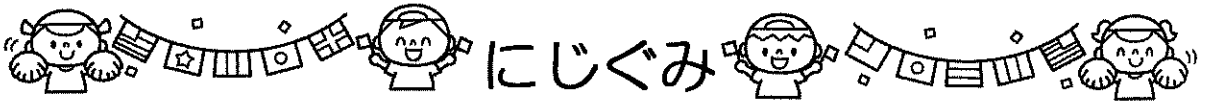


—ルールの説明します—

- ① 黄チーム・青チームに分かれて行います。
- ② それぞれのチームで、決まったところに親子2列で並んでください。
- ③ 全部で3回戦行います。
1回戦:黄チーム1対青チーム1
2回戦:黄チーム2対青チーム2
3回戦:黄チーム3対青チーム3
- ④ スタート線に親子で並び、スタートの合図で相手陣地(マット)に置いてある宝(赤玉)を親子手を繋いで走って取りに行きます。(この時、持てる宝は1人ひとつです!)
- ⑤ 取った宝を自分の陣地(マット)に置きます。
- ⑥ また相手の陣地に宝を取りに行きます。終了の合図まで繰り返します。
- ⑦ 終了の笛の合図で、元の場所に戻ります。
(この時、手に持っている宝は陣地に置いてOK。)
- ⑧ 次のチームと交代します。
- ⑨ 3回戦終わったら、それぞれの陣地に残っている宝の数を数えます。
- ⑩ 結果発表
- ⑪ 退場(親子で座席に戻ってください)

Point☆親子で手を必ず繋ぐこと!
☆宝は1人1つ持つこと!

ゲームの前に、
見本(サンプル)を挙げて、
よく見ていて下さい!!



10月からまた新しい友だちを迎え今年度のにじぐみさん全員が揃いました。一日保育が始まり、一緒に過ごす時間が長くなるとお友だちとの交流も少しずつ活発になってきました。満三歳児にとってたくさんのお友だちを全て認識することは難しいのですが、あそびや様々な活動を通して気の合うお友だちと出会えると嬉しいと思います。一期一会を大切にしたいです。

二学期から朝の体操が始まりました。朝の身支度を済ませて外へ出ますが、張り切って出ていく子、支度がなかなか出来ず、出遅れてしまったと感じて靴を履くことすら嫌になってしまう子など様々な姿が見られます。慌てて出て行って、気付いたらタオルやコップが出てなかったなんてこともあります。集団生活では時間の約束がありますので、時間を気に留めながら少しずつ自分で生活の見通しが立てられるようにできると良いですね。

体操の後は、各学年がかけっこやリレー、スペシャルな種目を毎日一種目ずつ見せてくれます。自分のお兄さんお姉さんたちの姿を見つけると大喜びで、自然と応援に力が入ります。座席がお隣のぶどうぐみさんが持っていたどんぐりマラカスに、にじぐみさんも興味津々でしたので、同じように作ってみました。他にもくるくる棒で旗を作って応援あそびをしている子もいたので、皆も作ることにしました。このような応援グッズを活用して当日も楽しみたいと思います。

小さいバットボールマラカスの中身は...

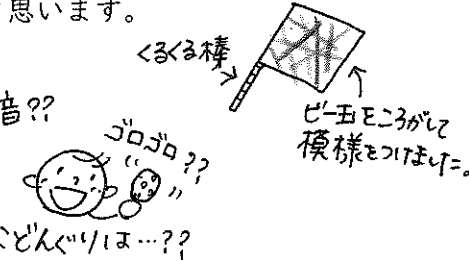


おわりは
ビニールテープでかざりつけ

- 1回切りの切り紙
- おさんぽで拾ったどんぐり



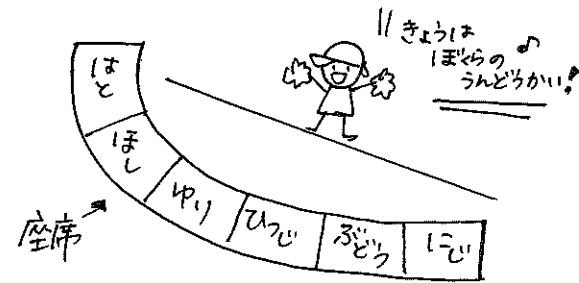
小さなどんぐりは
どんな音??
シャカシャカ
大きなどんぐりは...??



にじぐみさんも「応援タイム」やかけっこの「ラン Run らん♪」で頑張ります！
どうぞお楽しみに♡

【応援タイムの並び方】

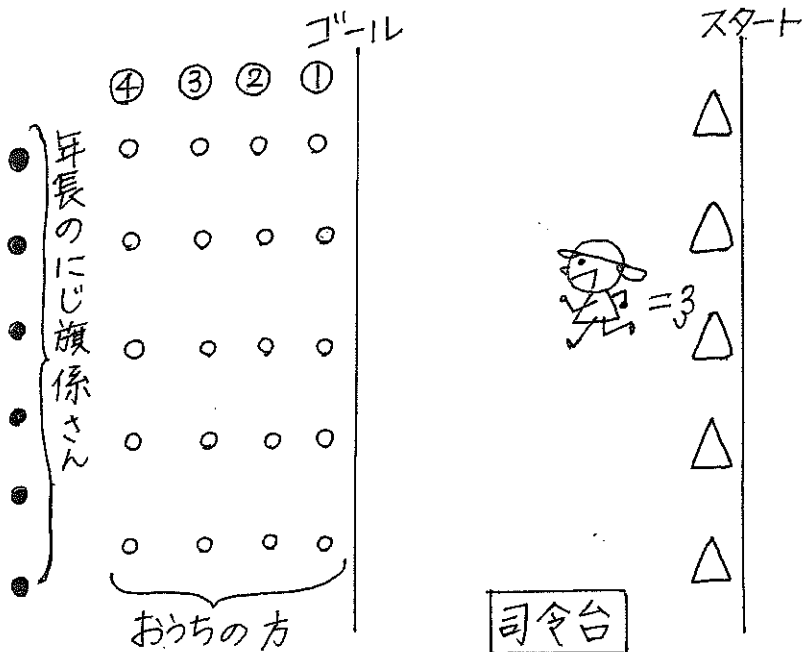
子どもたちの座席に向かって、横に広がって応援のダンスをします。





にじぐみさんのかけっこ「ラン Run らん♪」は、ゴールで待って下さる
おうちの方を目指して走ります。

下図のように子どもたちが5名ずつ4組でスタートラインに立ちますので、おうちの方はゴールラインに対面でお待ちください。



☆一人ずつ名前を呼ばれ「はい！」とお返事をしてから、5人ずつスタートします。ゴールをしたら「頑張ったね♡」と、ギュッとハグしてあげてください。そのあと年長さんの手作りメダルの素敵なプレゼントがあります。後方で『にじ旗係』さんから首にかけてもらってくださいね。その後はお子さんとしゃがんでお待ちください。全員が走り終わってから退場します。

☆「ラン Run らん♪」終了後にじぐみさんはフィナーレまでおうちの方と過ごします。座席も開放しますので、一緒に応援をお願いいたします。

☆当日は大勢のおうちの方もいらっしゃるの、いつもと違う雰囲気戸惑うお子さんもいるかと思ひます。そんな姿もどうぞ温かく見守ってあげてください。

Akie★

